

## ハウステンボス山桜植樹会 開催について

3月24日(日) 午前10時 アートガーデンにて

ハウステンボス(所在地:長崎県佐世保市)は、全国で山桜の植樹を行う「山桜100万本植樹計画」を推進している特定非営利活動法人「季語と歳時記の会」(代表:長谷川 權)と共同で3月24日(日)午前10時よりハウステンボス山桜植樹会を開催致します。

現在「チューリップ祭」を開催中のハウステンボスは四季を通じて場内を彩る花をテーマにイベントを開催しご来場のお客様をお迎えしています。

そしてこの度、季語と歳時記の会による「山桜100万本植樹計画」に賛同し場内に100本の山桜を植樹する運びとなりました。今回の植樹により近い将来、ご来場のお客様にはチューリップに加えて山桜でも場内で春を感じていただけることとなります。

### 記

「ハウステンボス山桜植樹会」開催概要

日 時:平成25年3月24日(日) 午前10:00~

場 所:ハウステンボス場内アートガーデン

出席者:長谷川 權(特定非営利活動法人「季語と歳時記の会」代表)

澤田 秀雄(ハウステンボス(株)代表取締役社長)

ほか

内 容:ハウステンボス場内への100本の山桜植樹を記念して記念樹の植樹を行います。

(ご参考)

「季語と歳時記の会」と「山桜100万本植樹計画」について(「季語と歳時記の会」より)

私たち日本人は、生活の中で季節のうつろいを敏感に感じる導としての歳時記文化をもち、精神の豊かさを育んできました。「季語と歳時記の会」(以下、季語歳)は、歳時記を深め、普及させていくことを活動の軸にしています。2008年にNPO法人として発足し、インターネットのもつ利便性を活用し、多くの人たちと交流をしながら、季語と歳時記を深く学ぶ以下のような6事業を展開中です。

- ① 日本最大級のネット歳時記5000 季語と季語を深めるリレーエッセイ
- ② 壮大な山桜100万本植樹計画
- ③ 歳時記学の構築を目指す「歳時記学」の発行
- ④ 季語を深く知るための「季語検定」を毎月「俳句」誌に連載
- ⑤ 歳時記の感性を養う「きごさい全国小中学生俳句大会」の開催
- ⑥ 連句の復活なるか? 「季語歳歌仙」の試み

桜といえば今は染井吉野と答える人が多いですが、幕末に江戸郊外の染井でつくられた人口品種。それ以前は桜といえば山桜のことでした。山桜は太古の昔から日本列島に自生する桜であり、西行や芭蕉が和歌や俳句に詠んだのもすべて山桜。しかし、桜は明治以降、戦争に駆り立てる象徴に籠り上げられ、桜のイメージも傷を負う。気高く清らかな山桜を100万本植樹する壮大な計画もまた、季語歳の事業のひとつです。

以上

《 ニュースリリースについてのお問い合わせ先 》  
ハウステンボス株式会社 経営企画室 高田・中野裕子  
TEL 0956-27-0138 FAX 0956-27-0025  
<http://www.huistenbosch.co.jp>